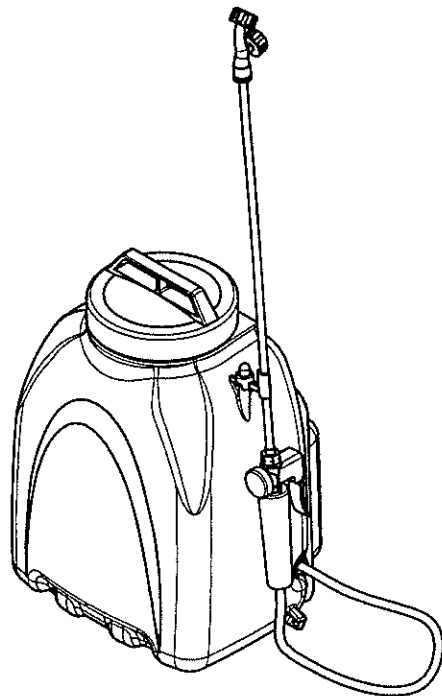




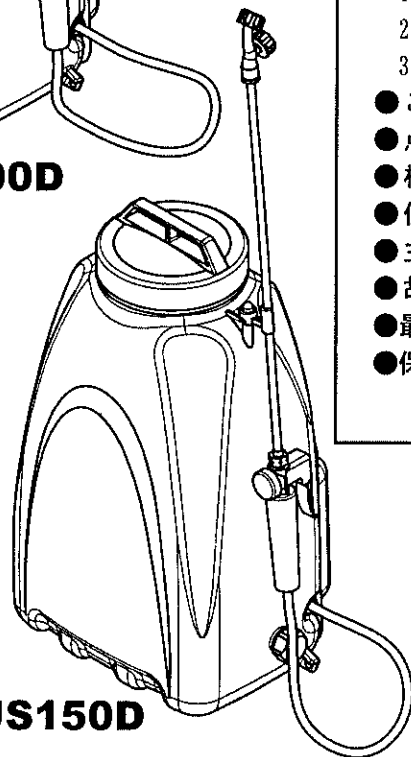
# 充電式噴霧器

モデル **MUS100DW**  
**MUS150DW**

## 取扱説明書



モデル **MUS100D**



モデル **MUS150D**

### 目次







● シンボルマークについて .....	2
● 安全上のご注意 .....	3
● 仕様 .....	7
● 各部の名称 .....	8
● 注意ラベル .....	9
● 使用準備 .....	10
1. 組立	
2. 薬剤の調合	
3. バッテリーの充電	
● 作業 .....	13
1. 薬液の充填	
2. 背負いバンドの調整	
3. 噴霧作業	
● ご使用後のお手入れ .....	14
● 点検と整備 .....	14
● 格納 .....	15
● 便利な使い方 .....	15
● 主な病害虫について .....	16
● 故障かな? と思ったら .....	17
● 最後に .....	17
● 保証書 .....	19

このたびはマキタ充電式噴霧器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。



- お求めの製品を安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失や損傷したときは、お買い求めのマキタ登録販売店またはお近くのマキタ直営事業所にお申しつけください。


# シンボルマークについて


製品および取扱説明書にシンボルマークを掲載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。


	取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解のうえご使用ください。		保護用手袋をすること。
	換気の悪い場所では使用しないでください。 (薬剤による中毒防止)		作業場に人・動物がいないこと。
	緊急停止 (電源スイッチOFF)		万一の場合にそなえて救急箱を備えてください。

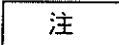
## 注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 と  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要な注意。

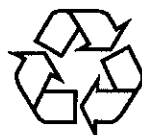
## バッテリーの回収について

・使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。  
弊社登録販売店または直営事業所へご持参ください。



Ni-Cd

ニカドバッテリー  
はリサイクルへ



Ni-MH

ニッケル水素バッテリー  
はリサイクルへ

# 安全上のご注意

## 全 般

### ⚠ 警 告

1. ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分ご理解のうえ、ご使用ください。
  - 機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故やけがの原因になります。



2. 本機は防除・除草用の農園芸用薬品の散布・散水を目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。
  - 目的以外で使用されますと、事故やけがの原因になります。

3. 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むよう指導してください。また、子供には本機を貸さないでください。
  - 機械の取り扱いの知識が不十分な場合、事故やけがの原因になります。
4. 誤った部品を取り付けたり改造をしないでください。
  - 思わぬ事故やけがの原因になります。

## 作業を始める前に

### ⚠ 警 告

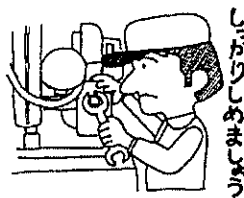
1. 次のときは機械を使用しないでください。事故やけがの原因になります。
  - 15歳未満の者
  - 精神病患者
  - 酒気をおびた者
  - 妊娠中の者
  - 過労、病気、薬物の影響、その他理由により正常な防除作業ができないもの
  - 負傷中の者、生理中の婦人等、農薬の影響を受けやすい者



2. 感電のおそれがありますので、屋内の水気のない場所で充電してください。
3. 濡れた手でバッテリー及び充電器を取り扱わないでください。


### ⚠ 注 意

1. 使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジのゆるみや欠落した部品がないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
  - 不完全な機械を使用すると事故やけがの原因になります。






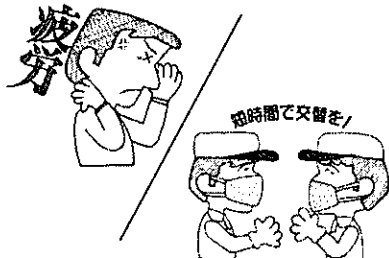
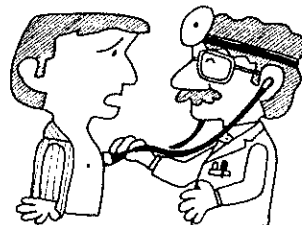
2. 防除作業に関係ない人を作業現場に近づかせないように配慮してください。
3. 薬剤タンクに薬剤を入れた状態で、自動車等で運搬される場合は、薬液が漏れる可能性がありますので、必ず薬剤タンク蓋をしっかりと締めて、本機を傾かない状態に固定してください。

# 農薬・薬液の取扱い

⚠ 警 告	
<p>1. 農薬の使用に当たっては、農薬の説明書をよく読み、毒性・使用方法について熟知してください。</p>  <p>2. 農薬が皮膚についた時は、直ちに石けんでよく洗ってください。</p>	<p>3. 薬剤タンク蓋は、漏れないようしっかり締めてください。</p> <p>4. 薬剤は絶対に別の容器に移し変えないでください。 • 誤使用、誤飲の危険があります。</p> <p>5. 薬剤の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬剤メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。</p>

⚠ 注 意	
<p>1. 火傷、火災の恐れがありますので強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・ベンジン等は絶対に使用しないでください。</p> <p>2. 農薬を選ぶ際には使用方法、効果を対象物に合わせて最適な農薬を選択してください。</p>	<p>3. 調合が適切でない農薬は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。農薬の調合の際は、農薬の説明書をよく読み、正しく希釈してから使用してください。</p> <p>4. 薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。</p>

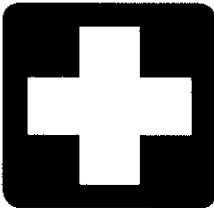
## 作 業 時

⚠ 注 意	
<p>1. 農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の防除衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行なってください。</p>  <p>2. 運転は必ずタンクに、薬剤または清水を入れて行なってください。空運転はポンプを傷めることがあります。</p> <p>3. 動かなくなったり、異常音が出た時は、直ちにスイッチをOFFにし使用を中止してください。</p>  <p>4. 散布作業中は常に風向きを考え、風上から風下に散布して薬剤が体に直接付着しないように十分注意してください。また、薬剤が周辺に飛散しないよう注意し、風が強い場合は作業を中止してください。</p> <p>5. 農薬中毒の危険がありますのでハウス内では必ず換気を行ないながら作業してください。</p>  <p>7. 気温が高い時の作業はさけてください</p>	<p>6. 長時間の作業を避け、なるべく作業者を交代して作業を行なうようにしてください。</p>  <p>7. 少しでも頭痛や、めまいなどを感じた場合には直ちに作業を中断し医師の診察を受けてください。また、医師に農薬名、作業状況を正確に知らせてください。</p>  <p>8. 噴霧状態が悪化した場合等、ノズルを清掃する場合は、顔面などに薬液がかかる恐れがありますので、必ず電源スイッチをOFFにし、ノズルを取り外して清掃してください。</p>

## 作業後・保管

⚠ 注 意	
<p>1. 使用した容器や薬剤タンクを洗浄した廃液は、河川へ流入したり、地下水の汚染することのない場所で適切に処理してください。</p> <p>2. 使用した農薬が薬剤タンク、噴霧ホース、噴霧管、ノズル等の内部に残っていると薬害を起す可能性があります。特に除草剤散布に使用した後は、残っている農薬を清水で十分に洗い流してください。</p>	<p>3. 残った農薬は農薬専用の保管箱へ保管し、子供の手の届かないような場所に保管してください。</p> <p>4. 作業終了後は機材を清水にて噴霧・洗浄し、水を抜いてから、屋内の直射日光が当たらず、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。</p> <p>5. 作業終了後は全身を石鹼でよく洗うとともに、目の洗浄とうがいをしてください。作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。</p>

## そ の 他

⚠ 注 意	
<p>1. 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<p>2. 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。注意ラベルは、お買い求めのマキタ登録販売店またはお近くのマキタ直営事業所にお申しつけください。</p> <p>3. いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めのマキタ登録販売店またはお近くのマキタ直営事業所にお申しつけください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 修理の知識や技術のない人が修理しますと事故の原因になります。</li> </ul>

## 充電器・バッテリーに関連するご注意

⚠ 警 告	
<p>1. 充電器とバッテリーは取扱説明書に記載されている組み合わせでご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定以外の組み合わせでは、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。</li> </ul> <p>2. 正しく充電してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この充電器は定格表示してある電源で使用して下さい。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。</li> <li>● 異常に発熱し、火災の恐れがあります。</li> <li>● 温度が10℃未満、あるいは温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。</li> <li>● 使用しない場合は電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。</li> </ul> <p>3. バッテリーの端子間を短絡させないでください。釘袋などに入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。</p> <p>4. 感電に注意して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。</li> </ul>

## ⚠ 警 告

### 5. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 充電工具、充電器、バッテリーは雨中で使用したり、濡れたまま使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

### 6. バッテリーを使用しないときは、必ずバッテリーカバーをかぶせてください。

### 7. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

### 8. バッテリーを火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

### 9. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

- 失明の恐れがあります。

### 10. 使用時間が極端に短くなったときは、使用をおやめください。

- バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。

### 11. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

## ⚠ 注 意

### 1. 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。

### 2. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- バッテリーを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内等)に保管しないでください。バッテリーの劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

### 3. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。

### 4. 注意深く手入れをしてください。

- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

### 5. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は本体、充電器、バッテリーを分解したり、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造はしないでください。
- 修理は必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。

### 6. 充電中、異常発熱などの異常に気が付いたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。

- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

# 仕 様

農業機械の種類		動力噴霧機（バッテリー動噴）		
型式		MUS100DW	MUS150DW	
仕様	幅×奥行×高さ(mm)	315×225×415	345×235×525	
	本体重量(kg) ※1	3.7	4.0	
	薬液タンク容量(L)	10	15	
	タンクドレン	無	付	
	電源ON&OFFスイッチ	本体	本体	
	噴霧バルブ	握りレバー一体式	握りレバー一体式	
	バッテリー	種類	ニッカド電池	ニッカド電池
		バッテリー型番	1250	1250
		電圧(V)	12	12
		容量(Ah)	1.3	1.3
	ポンプ形式		セラミックギヤ式	セラミックギヤ式
	モーター型式		直流モーター	直流モーター
充電器	方式	急速充電	急速充電	
	充電器型番	DC1414	DC1414	
	充電時間(分)	30(1.3Ah)	30(1.3Ah)	
性能 ※2 ※3	最高圧力(Mpa)		0.3	0.3
	吐出量(L/分)	縦2頭口ノズル	0.8	0.8
		除草剤ノズル	1.3	1.3
	連続作業時間(分)	縦2頭口ノズル	50《4.0杯》	50《2.6杯》
除草剤ノズル		80《10杯》	80《7杯》	
付属品		急速充電器 縦2頭口ノズル 広角除草剤ノズル 噴霧管ホルダ 両肩掛けバンド	急速充電器 縦2頭口ノズル 広角除草剤ノズル 噴霧管ホルダ 両肩掛けバンド	

※1：噴霧管、ノズルは含まず。

※2：連続作業時間、吐出量、充電時間は当社テスト値であり保証値ではありません。

※3：吐出量及び連続作業時間は付属ノズル、清水での値です。

◎改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。

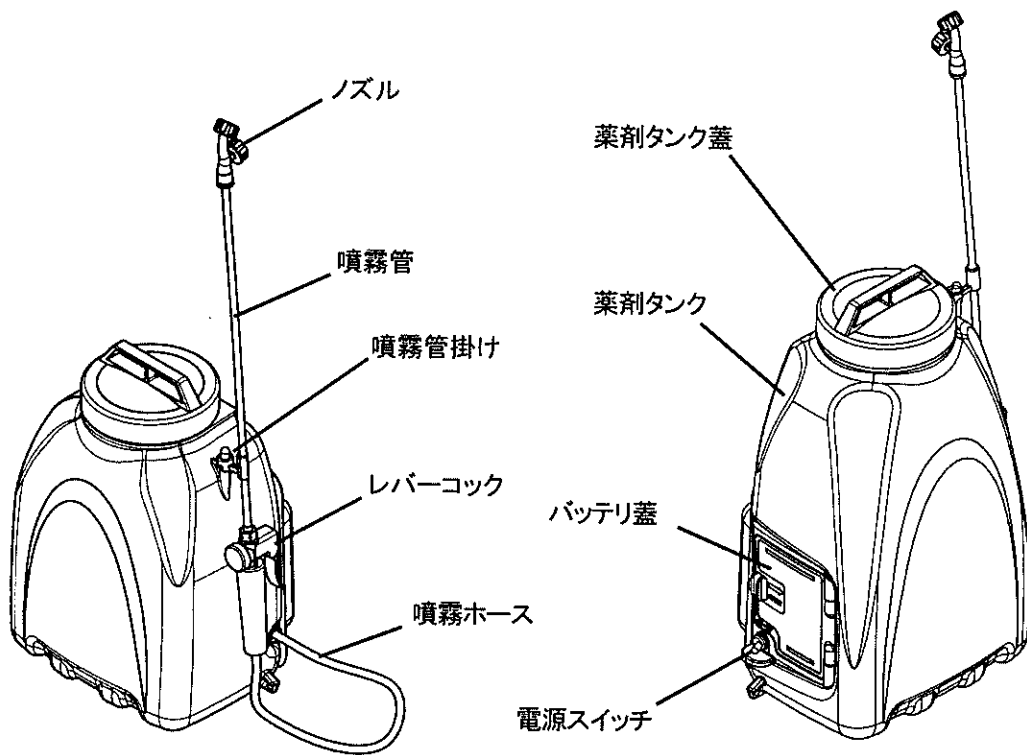
## 別販売品のご紹介

別販売品に関してはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。

下記バッテリーを使用することで、連続作業時間を延すことが可能です。

- ・バッテリー 1222 (12V2.0Ah：ニカド電池)
- ・バッテリー 1233 (12V2.2Ah：ニッケル水素電池)
- ・バッテリー 1233S (12V2.2Ah：ニッケル水素電池)
- ・バッテリー 1235 (12V3.0Ah：ニッケル水素電池)

# 各部の名称

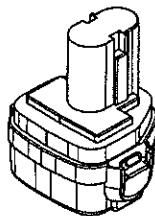


モデル **MUS100D**

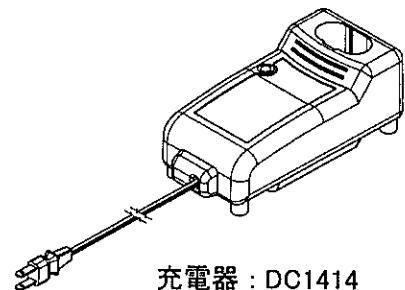
モデル **MUS150D**



バッテリーカバー  
(バッテリー端子保護用)



バッテリー : 1250



充電器 : DC1414

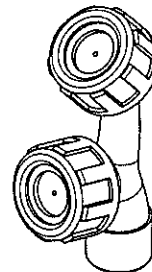
## ノズル

本機には下記2種類のノズルを標準付属品としています。  
下記を参照にして用途にあったノズルを選定してください。

### ●縦2頭口ノズル

コーンタイプ(円錐状)のソフトな噴霧

用途 : 一般防除用(殺虫剤, 殺菌剤)



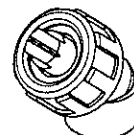
### ●広角除草剤ノズル

フラットタイプ(扇形状)の粗い噴霧

低圧で一度に広い幅の噴霧が可能

用途 : 除草剤散布用

散水用、土壌改良剤散布用





# 注意ラベル

本機を安全に使用していただくために、本機には注意ラベルが貼ってあります。注意ラベルを全て読んでからご使用ください。

注意ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。

本機に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルはお買い求めのマキタ登録販売店または、お近くのマキタ直営事業所にお申しつけください。

貼付位置：①

水	薬剤	希釈倍率		
		500倍	1000倍	2000倍
10L		20mL	10mL	5mL
16L		30mL	15mL	7.5mL

**△警告**

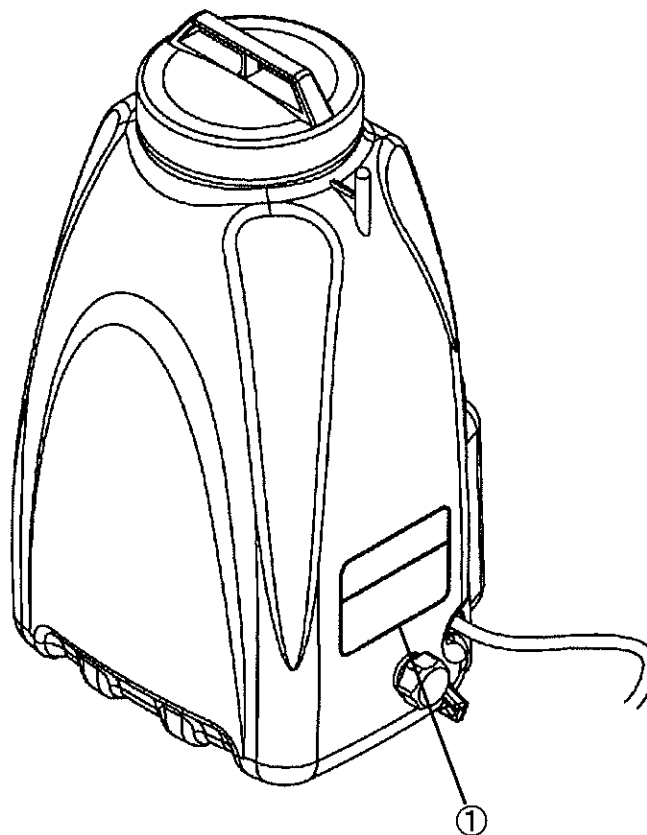
- 臭気による中毒を防ぐため、使用前に製品の説明書を必ずよく読み、取扱いは十分注意してください。
- 防除作業の際は必ず防除用マスク、ゴム手袋、防護衣を着用してください。
- 薬剤の使用は薬剤メーカーの指定に従って行ってください。また、注意事項をよく読んで正しく使ってください。

**△注意**

- 農薬等非農薬以外は絶対に使用しないでください。
- 作業中は人体や必要以外の作物、動植物等にかからないよう風や周囲の状況に十分注意してください。
- 水と薬剤はよく溶かしてから入れてください。
- ハウス内では必ず換気を行いながら作業してください。
- ご使用後は薬剤を完全に洗い、清水を入れて噴霧し、タンク、ポンプ、噴口等の洗浄を行い、水を抜いてから保管してください。
- 室内の直射日光が当たらない、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。

**注**

- 運転は必ずタンクに水・薬剤を入れて行ってください。故障の原因となります。
- バッテリの消耗を防ぐため、噴霧しない場合はこまめに電源スイッチを切ってください。



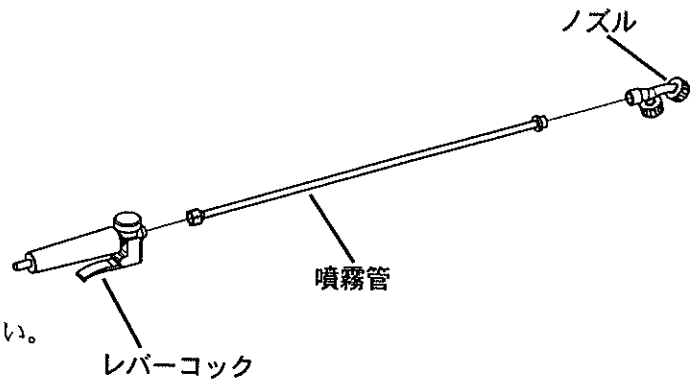
# 作業準備

## 1. 組立

本機には、噴霧管、ノズル及び、背負いバンドが取り付けられていません。  
次の手順で取り付けてください。

### 1) 噴霧管、ノズルの組付け

- ・右図の要領でレバーコックに噴霧管、ノズルの順に組付けてください。
- ・ノズルの向きは噴霧管のナットで調整して下さい。
- ・液漏れの無いようにしっかり取り付けてください。



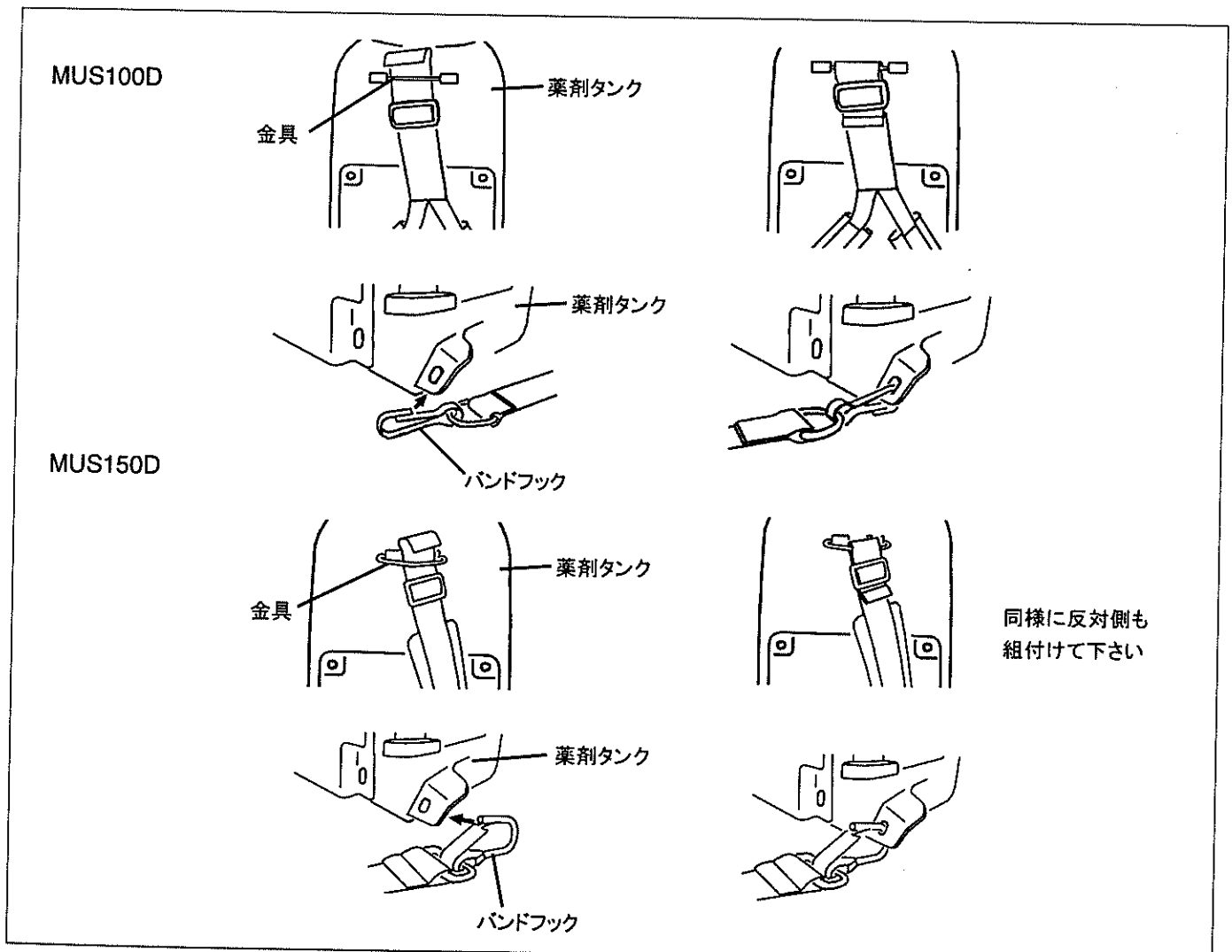
作業内容に合わせノズルの選定をしてください。  
ノズルの仕様は8頁をお読み下さい。

### 注

- ・各接続部にはパッキンが付いています。必ずパッキンが付いていることを確認してください。
- ・噴霧ホースに亀裂、摩耗、破損が無いことを確認してください。

### 2) 背負いバンドの取り付け方

- ・下図の要領で背負いバンド上部、下部を組付け、ねじり等がないか確認してください。



## 2. 薬剤の調合



### 1) 薬剤調合の仕方

- ・薬剤は有害ですから、取扱いについては必ず薬剤メーカーの指導に従って下さい。
- ・薬剤を希釈する場合、下表を参考にすると便利です。
- ・水和剤等を使用する場合は、バケツ等の容器によく溶かして下さい。

### ⚠ 注 意

- ケルセン水和剤(殺ダニ剤)は運転中にポンプの発熱により固まる性質があり、ポンプが動かなくなりますので絶対に使用しないで下さい。殺ダニ剤を使用する場合は、ケルセン乳剤、アカール乳剤、オサダン水和剤等をご使用下さい。
- 水和剤・石灰硫黄合剤を使用する場合は、よく溶かしてご使用下さい。
- 農薬の取扱いは十分注意を払って下さい。体に付着した場合は良く洗い流して下さい。

### 2) 薬剤を変更する場合

タンク、ポンプ、ノズル等を清水で入念に洗って下さい。

前の薬剤が残っていると、薬害を起こすことにもなりますので、特に注意を払うようお願いします。

また、薬剤が混ざると化学変化を起こし、有毒ガスが発生する恐れがあります。

**【希釈倍率早見表】**

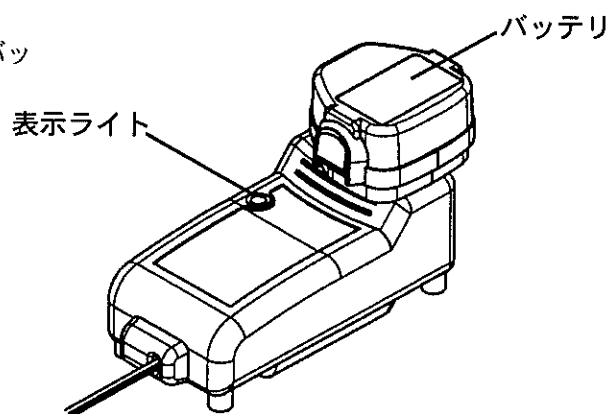
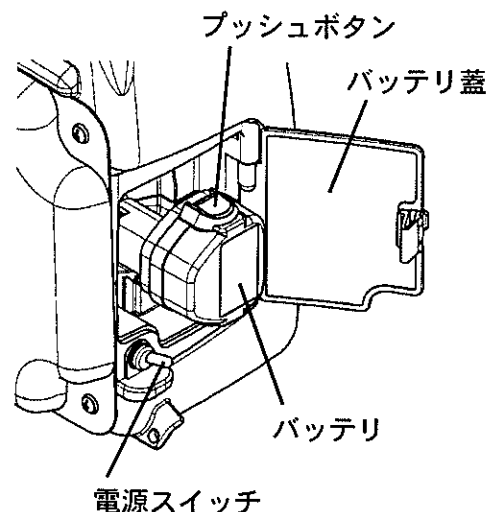
水 \ 薬	希釈倍率		
	500倍	1000倍	2000倍
4L	8	4	2
6L	12	6	3
8L	16	8	4
10L	20	10	5
12L	24	12	6
15L	30	15	7.5

( mLまたはg )

### 3. バッテリーの充電

#### バッテリーの充電について

- ・お買い上げ時は、バッテリーは充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・バッテリーを取り出す時は、バッテリー蓋を開けて、バッテリー側面のボタンを押しながら抜くと取り外せます。
- ・充電器のプラグを100Vの電源に差し込んでください。表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
- ・バッテリーを充電器に挿入してください。挿入は＋に注意し充電器の挿入ガイドにそって充電器の底にあたるまで入れてください。
- ・バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し充電を開始します。(充電時間は約30分です。)
- ・充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、トリクル充電を開始します。
- ・バッテリーを抜き取り、電源から充電器のプラグを抜いてください。
- ・バッテリーを本機に挿入してください。挿入ガイドにそってバッテリーを奥まで入れてください。
- ・バッテリー蓋を確実に締めてください。



#### 注

- ・新品や長時間使用されていなかったバッテリーは、1回の充電で満充電にならないことがあります。この場合は、使用・充電を2~3回繰り返してください。
- ・使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このような時はバッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- ・バッテリーを充電前に十分冷すことをおすすめします。
- ・充電開始後、表示ライトが「赤」、「緑」の交互点滅を繰り返した場合や、バッテリーを挿入しても「緑」点滅になる場合はバッテリーの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
- ・バッテリーを使用しないときは、必ずバッテリーカバーをかぶせてください。

表示ライト	状態
「緑」点滅	充電器スタンバイ
「緑」点灯	バッテリー充電完了
「赤」点灯	バッテリー充電中
「赤」点滅	バッテリーの温度が高くて充電できない。 (温度が下がると充電開始します)
「赤」「緑」交互点灯 バッテリー挿入直後に 「緑」点滅	バッテリーの寿命もしくはゴミ詰まりなどで 充電できない状態

#### ⚠ 注 意

- 突然の噴霧を防ぐため、本機にバッテリーを差し込む前に、電源スイッチがOFFに、レバーコックが閉じた状態になっていることを必ず確認してください。

- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い求めの販売店にお持ちください。

×充電器のプラグを100Vの電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。

×バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。

×充電開始後、充電表示ライトが「赤」に点灯した後、2時間以上たっても充電が完了しない。

(表示ライトが「緑」に変わらない。)

#### トリクル充電について

充電完了後にバッテリーの自然放電を防ぐため、バッテリーを差し込んでおけば微少電流を流し続けて満充電の状態を維持します。

# 作 業



## 1. 薬剤の充填

- ・電源スイッチがOFFになっていることを確認し、調合した薬剤を薬剤タンクに充填します。
- ・タンクに薬剤を入れる時は、必ず備え付けのタンクストレーナ(こし網)を通してください。
- ・薬剤タンク側面に目盛りが付いていますので、作業の目安としてください。
- ・薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり締めて下さい。

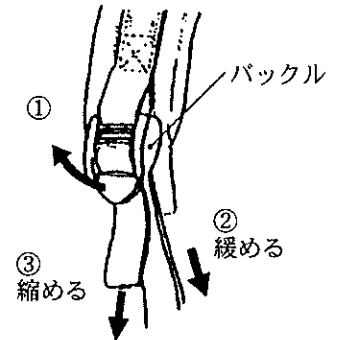
## 2. 背負いバンドの調整

- ・本機が出来るだけ体に近くなるよう、背負いバンドの長さを調整してください。

### ワンタッチ背負いバンド

- ・バンドを緩める時 ①バックルを持ち上げる  
②ベルトの本機に付いている側を引っ張る
- ・バンドを縮める時 ③ベルトのフリーになっている側

注) バンドを縮める際、バンドに重量が加わらないようにすると比較的スムーズに動きます。

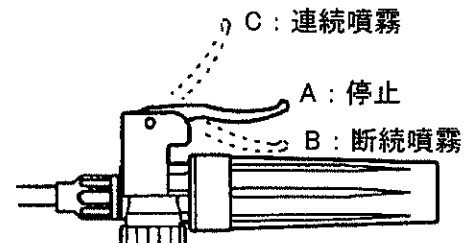


## 3. 噴霧作業

- ・周囲の状況を確認し薬剤タンク側面の電源スイッチをONにします。
- ・レバーコックを操作して噴霧作業を行ないます。
- ・散布が終了したら直ちにレバーコックを閉じた(停止)状態にして、電源スイッチをOFFにしてください。

### ●レバーコックの取り扱い方法

- 1) Aの位置が停止です。
- 2) Bの位置にすると噴霧し、レバーを放すとAの位置に戻り噴霧は停止します(断続噴霧)
- 3) Cの位置にすると連続して噴霧します(連続噴霧)



### 注

- ・薬剤タンクに薬剤または清水が入っていることを確認してください。空運転を続けるとポンプが焼き付くことがあります。
- ・レバーコックを閉じた状態で長時間運転すると、バッテリーを消費するだけでなく、ポンプにも悪影響を与える場合があります。こまめに電源スイッチをOFFにしてください。
- ・噴霧がとぎれたり、ポンプの音が急に高い音になった時は、薬剤タンクが空になっていますので、すぐに電源スイッチをOFFにしてください。
- ・電気系統が故障する恐れがありますので、バッテリー蓋を開けたまま、背当てクッションを取り外した状態で作業をしないでください。またバッテリー挿入部、背当てクッションに噴霧しないでください。
- ・レバーコック・噴霧管は乱暴に取り扱わないで下さい。

## ⚠ 注 意

- 突然の噴霧を防ぐため、電源のON-OFF切替は、レバーコックを閉じた状態で行なってください。
- 散布作業を中断し移動または放置するときは、不用意な散布を防止するため、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

# ご使用後のお手入れ



## 作業終了後

- ・使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、薬剤タンク内面に付着した薬剤を清水できれいに洗い流してください。
- ・再度薬剤タンク内に清水を入れポンプを数分間(2~3分)運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤も洗い流してください。
- ・薬剤タンク内の残液を抜き、再度ポンプを運転し、ノズルから残液が出なくなったら、電源スイッチをOFFにしてください。
- ・機材の水分、汚れを拭きとり、傷や漏れがないかチェックしてください。

使用薬品を変更される場合も上記手順にて、入念に機材の洗浄を行なってください

## バッテリーを長持ちさせるには・・・

- ・噴霧が弱くなったと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は10℃~40℃の範囲で行なってください。
- ・使用直後などの熱くなったバッテリーは少し冷してから充電してください。
- ・長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合、ニカドバッテリー(本機に付属のバッテリー)は、使い切った状態で、ニッケル水素バッテリー(別販売品)は充電して保管することをおすすめします。

# 点検と整備



## ⚠ 注意

- 点検整備する時は必ず電源スイッチをOFFにしてから行なってください。
- 点検整備後は必ずすべての部品を組み付けたことを確認してから運転を行なってください。

### 1) 日常点検

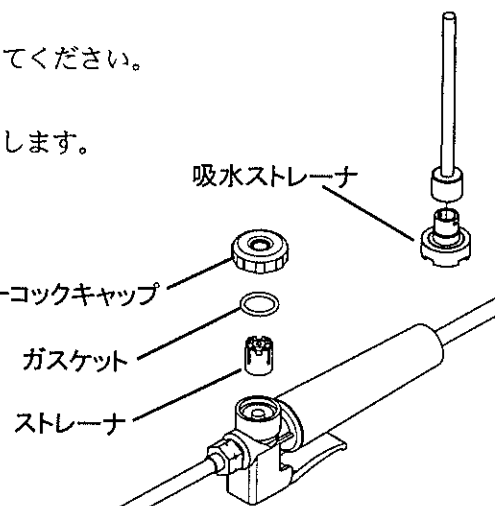
- ・作業の前、各締付部の緩み、無くなっている部品がないか、調べてください。
- ・噴霧ホースに亀裂、摩耗、破損が無いことを確認してください。
- ・使用後は毎回外部の汚れを拭き取り、傷や漏れがないかチェックします。

### 2) 吸水ストレーナの清掃

- ・薬剤タンクの底にある吸水ストレーナはタンク内から薬剤を出したあと、吸水ストレーナを回して取り外し、清掃してください。清掃後の取り付けは、軽く締めておいてください。(使用後毎日)

### 3) レバーコックストレーナの清掃

- ・レバーコックキャップを外しストレーナを清掃してください。



## 注

- ・吸水ストレーナ：タンクストレーナを通ったり、何らかの原因でタンク内に入ったゴミや塵がポンプ内に入らないためのフィルタです。吸水ストレーナが詰まると、噴霧状態が悪化したり、ポンプにも悪影響を与える恐れがあります。
- ・レバーコックストレーナ：レバーコックストレーナが詰まると、噴霧状態が悪化します。

# 格納

## 格納方法

- ・作業終了後の手順(14頁)にて機材の洗浄をしてください。
- ・特に冬季の保管ではポンプ内に薬剤、洗浄水が残っていると凍結により故障、破損の原因となります。ノズルから残液が出なくなるまでポンプを運転し、残液が無くなったことを確認して電源スイッチをOFFにして保管するようにしてください。
- ・長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合、バッテリーは使い切った状態で保管することをおすすめします。

## 重 要

●屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。

※プラスチック部品は直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下する場合があります。  
また注意ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので保管には充分注意して下さい。

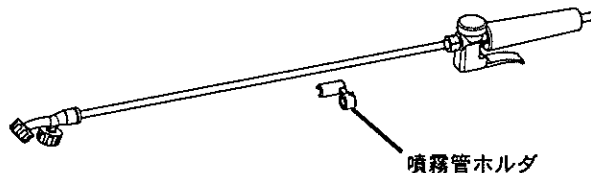
## 便利な使い方

### (1) 噴霧管掛け

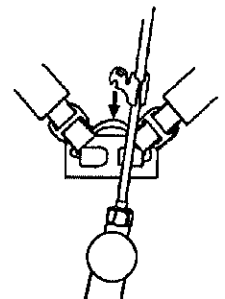
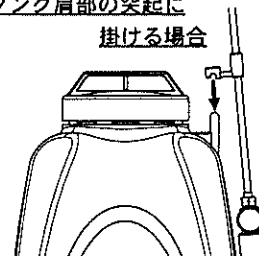
方向を間違えずに取付けて下さい。

注) 機能上、取付には力を必要としますが、噴霧管を曲げない様御注意下さい。

使い方(休憩、薬液補給、保管格納時等にお使い下さい。)



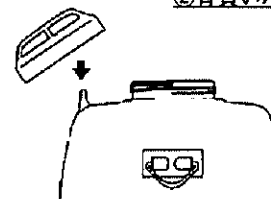
①タンク肩部の突起に掛ける場合



②背負いバンド金具に掛ける場合  
(MUS150Dのみ)

### (2) 薬剤タンク突起部

突起部は薬剤タンク蓋の仮置き場ともなりますので、蓋をちょっと掛けたいときなどにお使い下さい。



### (3) タンクストレーナ

タンクストレーナの切り欠き部に水道ホースを挿入すると手を離すことが出来、便利にお使いいただけます。



# 主な病害虫について

- 薬剤の取扱いについては、必ず農薬メーカーの指導に従ってください。
- 農薬は、よく溶かしてから、使用してください。



	名 称	症 状	対 策 (薬品名)
虫	アブラムシ類	新芽・新梢や葉裏に群棲する1.5～3 mm くらいの小さな虫が汁を吸っている。枯れることはないが生育が悪くなる。	繁殖力が旺盛なため長時間効果の続くオルトラン水和剤が最適。アクテリック乳剤、スミチオン乳剤などは発生の都度こまめに噴霧。
	ハダニ類	体調0.5 mmくらいで、主に葉裏に寄生して汁を吸っており、葉裏から見ると白くカスリ状になる。生育は悪くなり、落葉枯死することもある。	クモの仲間の害虫であり、一般的に卵・幼虫・成虫まで一度に退治する。ケルセン乳剤やアカール乳剤などを噴霧。
	カイガラ虫類	種類は多く、枝や葉などに固着し表面がロウ質分で覆われている。樹汁を吸って加害しているため生育が悪くなり、スス病の原因にもなる。	5～7月の幼虫期にオルトラン水和剤、アクテリック乳剤などを月2～3回樹全体に、ていねいに噴霧。冬期に越冬成虫をマシン油乳剤や石灰硫黄合剤を噴霧して殺す。
	ケムシ類 アオムシ類	チョウやガの幼虫で花や茎、葉などを食害しひどい場合は丸坊主になり、草花類は枯れ、庭木類は衰弱する。	小さい若令幼虫期に防除することが大切。オルトラン水和剤、アクテリック乳剤、スミチオン乳剤などを噴霧。
	ハマキムシ類	葉を巻いたり、数枚つづり合わせてその中に棲息し、葉を食害する。	葉を巻く前の若令幼虫期ではアクテリック乳剤やスミチオン乳剤などを噴霧。その後は浸透性のオルトラン水和剤が効果的である。
	ヨトウムシ	若令幼虫は葉裏などにいるが、成虫は昼間隠れて夜間食害するため発見は難しい。著しい時は、丸坊主になる。	若令期にオルトラン水和剤やアクテリック乳剤を噴霧。
病 気	うどんこ病	うどん粉をまぶしたような花卉、蕾、花梗や葉が白くなる。	発生を認めたらベンレート水和剤、モレスタン水和剤、サブロール乳剤などを噴霧。
	斑点性病害 (黒星病、炭ソ病など多数の病気)	葉の緑から褐色に変色してきたり、葉に褐色・白・黒などの斑点を生じる病気で、カビ性と細菌性のものがある。	カビ性のものが多く、マンネブダイセン水和剤などを数回噴霧。細菌性にはマイシンSなどを噴霧。
	灰色かび病 (ポトリチス病)	花卉や果実にしみ状の斑点ができ、次第に広がって最後に灰色のカビが生えてくる。	ロブラール水和剤が特効的。ベンレート水和剤やダコニールでも効果がある。
	すす病	葉や幹、枝などが、ススをかぶったように黒ずんでくる。生育が悪くなるとともに美観が著しく損なわれる。	すす病自体はベンレート水和剤を噴霧すればきれいになるが、カイガラムシなどが原因になる害虫を退治しないとすぐ再発する。
	さび病	葉の裏面にやや隆起したかさぶたのような病班をつくるのが特長である。病班は赤・黄・白・黒など様々な色をしている。	マンネブダイセン水和剤、ベンレート水和剤、サブロール乳剤を発生初期に数回連続して噴霧。



## 故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行ない、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い求めのマキタ登録販売店または、お近くのマキタ直営事業所にお申し付けください。

不具合の状況		原因	対応
モーター（ポンプ）が回らない	電源スイッチOFF	電源スイッチがOFF	電源スイッチをONにする
	電源スイッチON	バッテリー異常（電圧低下）	充電する（12頁参照） 充電しても効果がない場合は、バッテリーを交換する（12頁参照）
		配線コネクタの外れ	点検整備を依頼してください
		配線の断線	点検整備を依頼してください
		電源スイッチの故障	点検整備を依頼してください
		モーターの故障	点検整備を依頼してください
		ポンプの異常	点検整備を依頼してください
		ヒューズの切れ	点検整備を依頼してください
ポンプは回転しているが噴霧しない	ノズルの詰まり	清掃、または交換する（14頁参照）	
	薬液タンクに液がない	補給する（13頁参照）	
	薬剤タンク蓋の空気穴の詰まり	清掃する	
	配管の詰まり	点検整備を依頼してください	
	配管の破れ、亀裂	点検整備を依頼してください	
	配管の外れ、つぶれ	点検整備を依頼してください	
	吸水ストレーナの詰まり	外して清掃する（14頁参照）	
噴霧はするが異常である、 または噴霧圧力が低い	バッテリー異常（電圧低下）	充電する（12頁参照） 充電しても効果がない場合は、バッテリーを交換する（12頁参照）	
	薬剤タンク蓋の空気穴の詰まり	清掃する	
	配管の詰まり	点検整備を依頼してください	
	配管の破れ、亀裂	点検整備を依頼してください	
	配管の外れ、つぶれ	点検整備を依頼してください	
	吸水ストレーナの詰まり	外して清掃する（14頁参照）	
	レバーコックストレーナの詰まり	外して清掃する（14頁参照）	
	調圧弁の異常	点検整備を依頼してください	
ギヤケースの磨耗	点検整備を依頼してください		
電源スイッチをONにすると異音がする	ポンプを駆動するカップリングの破損	点検整備を依頼してください	
	ノズルの詰まり	清掃、または交換する（14頁参照）	
電源スイッチをOFFにして放置しておく と、ノズルから多量の液が流れる	レバーコックが開いた状態になっている	レバーコックを「閉」の状態にする （13頁参照）	

## 最後に

本機を安全にご使用いただく為に特にご注意いただきたい事項を繰り返しますと

- (1) 作業前には必ず作業点検を行なってください。
- (2) 農薬の取扱いは十分注意を払って行なってください。体に付着した時はよく洗い流してください。
- (3) 作業が終わりましたら薬剤タンク、ポンプ、噴霧ホース、ノズル等を清水で噴霧しきれいに清掃してください。
- (4) 体調が不十分な場合や著しく疲労している場合は噴霧作業に従事しないでください。
- (5) 少しでもめまいや頭痛を感じた場合は直ちに作業を中断し医師の診断を受けてください。

# 全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(841) 2201
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈087〉(841) 2201
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈088〉(626) 0555
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(25) 4696	松山営業所	〈089〉(951) 7666
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(771) 3462	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈0593〉(51) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0478〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL0566-98-1711 (代表)